

# 健康メモ

## 子どものしつけ



日々の子どものかわりの中で、子どもが親の言うことを聞いてくれなかったり、わざと悪いことをしたりと、親の思い通りにいかないことがたびたびあります。そんなとき、ついカッとなって怒鳴ったり、きつくしかなかったりしてしまい、後悔することがあります。「どうしたら子どもをうまく導き、育てることができなのか」、悩む親御さんも多いのではないのでしょうか。

しつけというものは、子どもの自制心を育てるために、大人が子どもを統制することです。自制心が育つと、みんなと一緒に生活や活動をするときに、相手に理解されやすくなり、また相手を不愉快な気持ちにさせず、上手に付き合うことができるようになります。しかし統制といっても、決して罰を与えたり、大人の意のままにコントロールしたりすることではありません。また子どもの行動を許容することだけでなく、子ども自身の自己統制力が身に付くように大人が上手に効果的に導き、育てていくためにすることです。

しつけは子どもが社会参加する上

で重要な課題ですが、子どもがその課題に取り組めるためには、とても重要なことがあります。それは、親子の関係の中に安心感や信頼感がきちんとあることです。子どもが親に十分受け入れられていると感じると、親の言うことも素直に受け止められます。しかし、怒鳴って子どもの気持ちを押さえつけて、自由な意思表示や気持ちを無視し、ルールだけを押し付けようとすると、子どもにとっては苦しい経験になり、親の言うことを聞きたくなくなってしまうです。子どもは一人ひとり違いますから、しつけ方もそれぞれに合わせたやり方があります。決まりごとばかりに気を取られず、確固たる態度と愛情を持って子どもと接すれば、親を信頼し親の期待に応え、きちんと育つと思います。

〔銚子児童相談所〕

